

(9) 観光危機管理計画について

観光危機管理計画とは

本計画は、観光産業に負の影響を与える地震・風水害等の自然災害や、テロ等の人的災害の観光危機に関し、危機管理のための基本的な対応等を定め、観光危機が発生または発生する恐れがある場合において、当該危機の減災対策等、観光客の安全を守るための体制を整備するもの

観光危機管理のポイント

- 減災 (Reduction)
災害のリスクを想定し、危機の発生を抑止。観光客や事業者への被害を最小に抑えるための対策を講じる。
- 備える (Readiness)
危機が発生した際に、誰がどのように対応するのか等の具体的な行動計画を策定し、有事の際にも適切な行動が行えるように備えておく。
- 対応 (Response)
危機発生時に、事前に準備していた行動計画やマニュアルに基づき、観光客の安全を確保する。情報収集も非常に重要
- 復興 (Recovery)
復旧・復興について、予め計画を立てておくことで、危機後の迅速な観光地の立て直しを図る。

今後の予定

犬山市には、年間約 500 万人の観光客が訪れており、観光客及び事業者に対しての危機管理計画は観光事業を守るためにも必要な計画となりました。

安心して犬山市へ観光に来ていただけるよう、今後は、観光課と調整しながら令和 3 年度に計画の策定に着手していきます。

